

日本鐵鋼協會第五回講演大會プログラム

第一日 10月6日(月) 見 學

見學者を第 1、第 2 の兩班に分つ、第 1 班は午前 9 時、第 2 班は午後 1 時迄に金屬材料研究所(仙臺市片平町)に參集の事、見學希望の方は御申込の際希望班を指定せられたし

金屬材料研究所	}	第 1 班	午前 9 時	より
		第 2 班	午後 1 時	より

第二日 10月7日(火) 洞爺湖温泉宿泊

内地方面よりの參加者は午後 12 時 25 分、函館棧橋發、稚内港行の列車(前夜 9 時 47 分仙臺發の列車連絡)に乘車せられたし、實行委員は午後 2 時 40 分八雲驛に出迎ふべきに付旅館名札を受取り各自の荷物に添附せられたし

午後 4 時 41 分、虻田驛着 下車、荷物は委員に交付せられたし

室蘭方面よりの參加者は午後 4 時 30 分迄に虻田驛に集合の事電車に乗換へ午後 4 時 43 分 虻田驛發

午後 5 時 8 分 洞爺湖畔驛着 各指定旅館に宿泊

第三日 10月8日(水) 洞爺湖觀光

午前 9 時 元湯ホテル前棧橋に集合、直に乗船 壯瞥に向ふ

午前 9 時 40 分 壯瞥着上陸、發電所 見學

午前 10 時 20 分 壯瞥にて乗船、中島に向ふ

午前 11 時 中島着上陸、觀音島視察

正 午 晝 食 (中島觀音にて)

午後 1 時 30 分 中島にて乗船、温泉に向ふ

午後 2 時 温泉着上陸

午後 2 時 20 分 洞爺湖驛發 虻田に向ふ

午後 2 時 45 分 虻田着下車、汽車に乗替へ

午後 2 時 54 分 虻田發 室蘭に向ふ

午後 4 時 7 分 東輪西着 乗換なし
 午後 4 時 15 分 東輪西發
 午後 4 時 33 分 室蘭着下車、委員より室蘭案内圖を受取られたる上
 各自指定旅館に宿泊

第四日 10月9日(木) 講演會 午前9時開會

會 場 株式會社日本製鋼所 一號役宅

開會の辭 社團法人日本鐵鋼協會第五回講演大會實行委員長

株式會社 日本製鋼所取締役會長 工學博士 水谷叔彦君

講演 (午前の部)

1. 鎔鑛爐用骸炭の灰分と燃料價值との關係

淺野小倉製鋼所 工學士 帆足有志夫君

2. 骸炭製造の際に於ける副産物に就て 八幡製鐵所々員 高山正寛君

(休憩 10 分)

3. 蓄熱室用煉瓦の熱的性質に就て 八幡製鐵所々員 河内通君

4. 砂鐵鑛の酸化並に還元就て

東京帝國大學冶金學教室砂鐵研究室 梅津七藏君

5. 砂鐵鑛の還元

東北帝國大學教授 理學博士 岩瀬慶三君

晝食 (同館内に於て)

講演 (午後の部) 午後1時開演

6. 熱分析より見たる褐鐵鑛の性狀

九州帝國大學教授 工學博士 井上克己君

7. 鐵鑛石間接還元難易の理由に關する二三の研究

東北帝國大學教授 工學博士 大石源治君

工學士 石部功君

(休憩 10 分)

8. 沼鐵鑛の焙燒及燒結に就て 日本製鋼所輪西工場 工學士 里村伸二君

工學士 杉浦伴君

9. 一酸化鐵、無水硅酸二元系の研究

京都帝國大學教授 工學士 山田賀一君

10. 鋳鑛爐に於ける化學反應 東京帝國大學教授 工學博士 倭 國 一 君

(休 憩 10 分)

11. 高揮發分北海道炭による製銑に就て
日本製鋼所輪西工場 工學士 川 口 正 名 君

12. 電氣爐に於ける白銑及鼠銑生成の因子に就て
三菱製鐵株式會社 技師 向 山 幹 夫 君

(休 憩 10 分)

13. 鑄鐵の成分と鬆(引け穴)との關係 新潟鐵工所 技師 松 浦 春 吉 君

14. 鑄鐵製ロールの熱處理に就て 八幡製鐵所研究所員 工學士 谷 口 光 平 君

通俗講演會 日本鐵鋼協會 主 催
室蘭市役所

時 日 十月九日 午後 6 時 30 分開會

會 場 室蘭女子小學校講堂 (室蘭市幸町)

開會の辭 室蘭市長 松 尾 豊 次 君
製鐵の話 日本製鋼所輪西工場長 工學士 横 田 文 吉 君
鐵と鋼の話 日本鐵鋼協會評議員 東北帝 理學博士 本 多 光 太 郎 君
國大學教授金屬材料研究所長
活動寫眞映畫

1. 北海道拓殖實況 2. 八幡製鐵所作業實況 3. 漫畫 鐵公物語

閉會の辭 社團法人日本鐵鋼協會々長 工學博士 倭 國 一 君
東京帝國大學教授

第五日 10月10日(金) 講演會 午前9時開會

講演(午前の部) (會場前日に同じ)

15. 特殊鑄鐵の性質に就て 石川島造船所 工學士 渡 邊 一 郎 君

16. 艦船用高滿俺鋼板の製造に就て 八幡製鐵所々員 前 田 元 三 君

(休 憩 10 分)

17. 富士式平爐に就て 富士製鋼株式會社技師 工學士 富 山 英 太 郎 君

18. Moll式平爐の構造及操業に就て 神戸製鋼所技師 工學士 芦 原 光 太 郎 君

(休 憩 10 分)

19. 蓄熱室の研究 日本製鋼所室蘭工場 工學士 萩 原 巖 君

20. 水素還元により製造せる鐵の性質に就て

明治専門學校教授 M.S. 嘉村平八君

晝食 (同館内に於て)講演 (午後の部) 午後 1 時開演

21. 冷間鍛錬による金屬の超表面硬化

陸軍科學研究所々員 陸軍砲兵中佐 工學士 尾藤加勢士君

22. 鉄力原板の表面疵に就て 附 黑板の現状に関する参考事項

八幡製鐵所研究所々員 吉田清三郎君

(休憩 10 分)

23. 加熱爐の熱分布に関する計算 日本製鋼所室蘭工場 工學士 八濱康和君

24. 種油の焼入効果に就て 吳海軍工廠製鋼部々員 海軍技師 大畑宇治郎君

(休憩 10 分)

25. 工具鋼焼入用鹽浴に就て

陸軍造兵廠 大阪工廠 鐵材製造所長 陸軍砲兵少佐 工學士 杉本正邦君

26. 白點の成因並其防止

吳海軍工廠製鋼部々員 海軍造兵少佐 工學士 武林誠一君

(休憩 10 分)

27. 鋼の纖維狀組織と其の性質

日本特殊鋼合資會社 玉置正一君

永澤清君

28. ニッケル銅鋼の研究 海軍技術研究所々員 海軍技師 工學士 室井嘉治馬君

晚餐會時日場所 室蘭市 常盤 に於て午後 6 時 30 分より第六日 10 月 11 日 (土) 工場見學 港灣視察 講演會 研究部會

午前 9 時 30 分 日本製鋼所室蘭工場正門舊事務所に集合の事

1. 日本製鋼所室蘭工場見學 自午前 9 時 30 分 至同 11 時

2. 港灣視察 自午前 11 時 30 分 至午後 1 時 30 分

午前 11 時 20 分 茶津埠頭より巡覽船に乗り出航、港灣視察し

午後 1 時 30 分 茶津埠頭へ上陸

晝食 (船中にて日本製鋼所より提供せらる)

(但し荒天、雨天の節は港灣視察を中止し午後 1 時より講演會開會)

講演會 午後 2 時開演 場所 前日に同じ

29. 燒鈍脆性に就て 日本製鋼所室蘭工場 工學博士 蔭田 宗次君
 30. 固態滲炭劑の滲炭力減衰に就て 三菱航空機株式會社名古屋製作所 工學士 石澤 命知君
 31. 超高速度工具材料タンガロイの製造と應用 芝浦製作所 中村 素君

(休憩 10 分)

32. 高マンガン大洲田鋼の加熱による組織及性質の變化 東北帝國大學教授 理學博士 村上 武次郎君
 助手 三神 正苗君
 33. 鐵、ニッケル、クロム、三元合金の研究 日本電熱線製造株式會社技師 松永 陽之助君

(休憩 10 分)

34. 燒入研究自記膨脹計 東北帝國大學助教授金屬材料研究所員 工學士 佐藤 清吉君
 35. 熔融状態に於ける鑄造用輕合金、銅合金及鑄鐵の粘性に就て 京都帝國大學教授 工學博士 齋藤 大吉君
 大阪工業大學講師 工學士 松川 達夫君
 講演會閉會の辭 社団法人日本鐵鋼協會々長 工學博士 俵 國一君

午後六時散會

研究部會 (午後 7 時より一號役宅に於て開會)

第七日 10 月 12 日 (日) 工場見學 研究部會

午前 9 時 室蘭驛に集合同 9 時 15 分同驛發 9 時 28 分 輪西着下車

1. 日本製鋼所輪西工場見學 自午前 9 時 35 分 至同 11 時 30 分
 終つて構内汽車にて茶津に向ふ

晝食 (瑞泉閣庭園又は一號役宅に於て日本製鋼所より提供せらる)

2. 共勵會及購買組合見學 自午後 1 時 至同 2 時
 室蘭驛發 午後 3 時 45 分 同 5 時 20 分又は同 7 時の列車に依り
 登別溫泉に至り各指定旅館に宿泊

研究部會 (午後 1 時より一號役宅に於て開會)

第八日 10月13日(月) 見學

本日の見學をイ、ロ、2班とす出席班を豫め申出置かれたし

◎ イ班、苫小牧製紙工場のみ見學。◎ ロ班、白老土人部落及苫小牧製紙工場見學

	登別發	白老驛着	白老驛發	苫小牧着
イ班	午前9時20分			午前11時17分
ロ班	午前5時50分	午前7時13分	午前10時44分	午前11時17分

◎ ロ班は土人部落見學後午前10時44分乗車、イ班に合す

◎ 王子製紙株式會社苫小牧工場見學 自午前11時30分 至午後2時20分

晝食 (王子製紙會社苫小牧工場より提供せらる)

當夜の宿泊は希望により苫小牧(收容數30人限)又は登別温泉とす豫め希望所を申込まれたし、登別温泉宿泊希望者は午後2時31分、苫小牧發午後4時30分登別温泉着

第九日 10月14日(火) 見學

午前5時50分登別温泉發登別にて汽車に乗換へ(苫小牧發は午前7時52分)

午前9時35分栗山着、夕張鐵道線に乗換へ

午前10時栗山發、午前11時37分新夕張着

晝食 (北海道炭礦汽船會社より提供せらる)

夕張炭山(炭脈露頭、坑内の一部、選炭場)見學 自晝食後 至午後5時30分

午後5時45分新夕張發

(坑内詳細見學希望者は夕張に一泊せらるること)

夕張鐵道線往復汽車賃及夕食辨當は北海道炭礦汽船會社より提供せらる

解 散

隨意見學

常盤商會久慈製鐵所 10月14日より16日迄

釜石鑛山株式會社釜石鑛業所 10月15日より18日迄

隨意工場見學希望者は豫定日を本會迄御通知し置かるゝ事